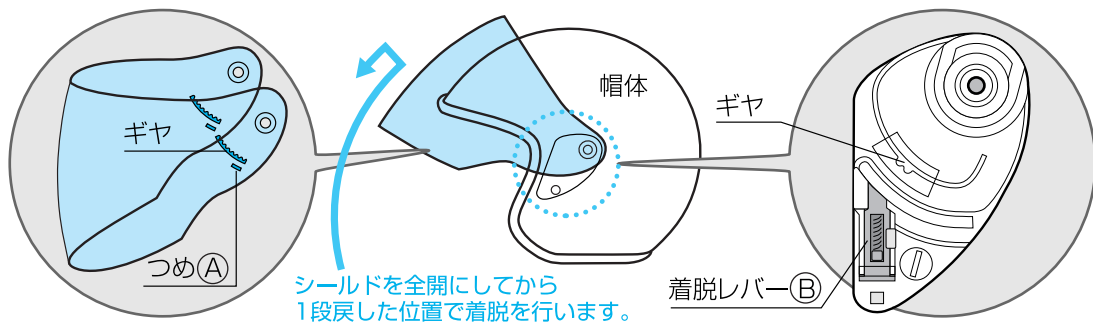


M-920およびM-370・M-371XL共通のシールド着脱方法

■図(I) 各部の名称

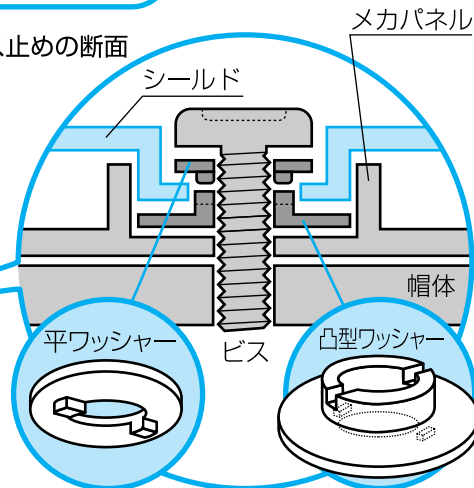
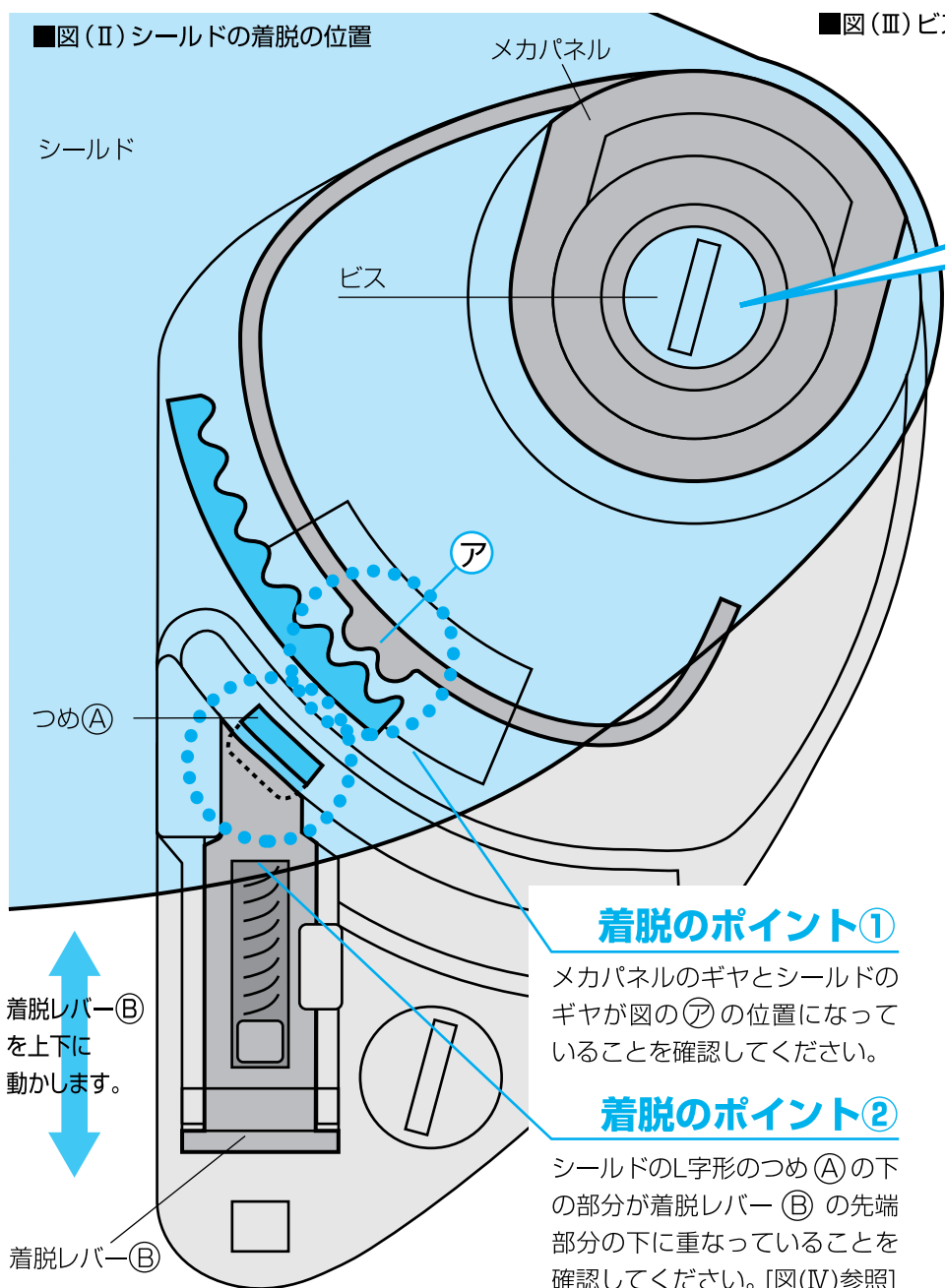
▼メカパネル



このシールドはビルトインメカ機構の所定の箇所にはめ込むこと、帽体の左右各1カ所ずつビス止めすることにより、装着されています。着脱は、以下の手順で行ってください。

■図(II) シールドの着脱の位置

■図(III) ビス止めの断面



シールドのはずし方 [図II参照]

- 1 シールドを上げて全開にしてから1段階下へ戻して、ギヤが図IIの(ア)の位置になっていることを確認します。
- 2 シールドを帽体に止めているビスを緩めます。この時点では、ビスをはずさないでください。
- 3 メカパネルにあるストッパー(β)を下げて、シールドのつめ(A)を外します。
- 4 上記2で緩めたビスを帽体から抜いてシールドを外します。このとき、平ワッシャーと凸型ワッシャーを紛失しないように注意してください。

シールドの取り付け方 [図II・III・IV参照]

- 1 メカパネルと帽体のビス穴の位置を合わせます。図IIIのビス止め断面図に従って凸型ワッシャーを入れます。このとき、ワッシャーの上下の向きを確認して入れてください。
- 2 シールドをメカパネルに、図IIの(ア)の位置でギヤが合うように重ねます。
※重ねる際に、シールドに無理な力を加えないようにしてください。シールドのつめ(A)が破損する恐れがあります。
- 3 メカパネルの着脱レバー(β)を下げて、メカパネルにシールドのつめ(A)をきちんとはめて、着脱レバー(β)を戻します。
※図IVのように、つめ(A)の下部を着脱レバー(β)で確実に押さえていることを確認してください。
- 4 メカパネルのビス穴に平ワッシャーを通し、ビスを入れて締めます。
※各部品を所定の位置にセットしないでビスを締めると、シールドなどが破損したり、機能が十分動かない恐れがありますのでご注意ください。

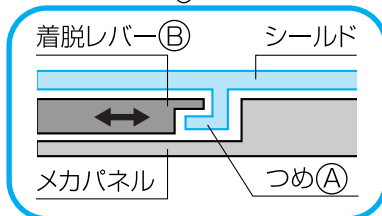
着脱のポイント①

メカパネルのギヤとシールドのギヤが図の(ア)の位置になっていることを確認してください。

着脱のポイント②

シールドのL字形のつめ(A)の下の部分が着脱レバー(β)の先端部分の下に重なっていることを確認してください。[図(IV)参照]

■図(IV) 着脱レバー(β)とシールドのつめの断面



注:ビスの調整

シールドの上げ下げを繰り返すことによってビスが緩み、シールドを上げた状態で固定できなくなることがあります。ときどきビスを硬貨などで締め直し、シールドの動きを調整してください。

Marushin

マルシン工業株式会社

〒124-0011 東京都葛飾区四ツ木5-9-6
TEL.03-3693-5791(代) FAX.03-3693-5762